

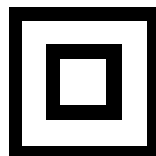
Hitachi Koki

日立チップソー切断機

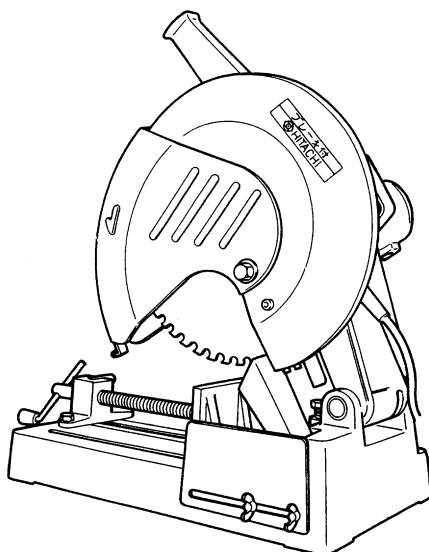
305mm CD 12F

取扱説明書

このたびは日立チップソー切断機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁




HITACHI


目 次


	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
チップソー切断機使用上のご注意	5
各部の名称	8
仕様	9
標準付属品	9
別売部品	10
用途	10
作業前の準備	11
ご使用前に	12
切断する前に	14
切断方法	16
チップソーの取付け・取りはずし	18
保守・点検	19
ご修理のときは	22
全国拠点一覧	裏表紙


警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

 **警 告**

- ⑨ 保護メガネを使用してください。**
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。**
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。**
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。**
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。**
- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
- 使用しない、または修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
- 屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルを使用してください。



警 告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑲ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⑳ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉑ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違っ組立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。

電気システムの分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご用命ください。

チップソー切断機の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、チップソー切断機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警 告

- ① **本機は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、機体が破損したりし、けがの原因になります。
- ② **セフティカバー（保護カバー）は、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。**
セフティカバー（保護カバー）でチップソーを覆っていないと、けがの原因になります。
- ③ **チップソーは、外径 285 ～ 305 mm の範囲のものを使用してください。**
使用範囲からはずれたチップソーを使用すると、ソーカバーを切断したり、覆いが不完全となり、けがの原因になります。
- ④ **切り落とし直前や切断中に、材料の重みでチップソーがはさみつけられないように、切断する材料の受け台を設けてください。**
チップソーがはさみつけられると、切り落された材料が飛散したり、けがの原因になります。
- ⑤ **使用中は、チップソーや回転部、および切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。
- ⑥ **材料切断後、チップソーが完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。**
材料切断後、チップソーを回転させたままハンドルを持ちあげると、強い反発力が生じたり、材料がチップソーに巻き込まれ飛散することがあり、けがの原因になります。
- ⑦ **本機は、金属切断用です。本機専用の日立純正金属切断用チップソーを使用してください。**
切断トイシ、木材用チップソーなどを使用しますと刃物が破損し、けがの原因になります。
- ⑧ **材料を切断するときは、引火しやすいもの、傷つきやすいものは、遠ざけてください。**
切り落とした材料、切りくずは高温になります。また、切断火花も発生します。切りくずなどを直接手足にあてますと、けがの原因になります。

 警 告

- ⑨ 切削油などを付けて切断しないでください。
切削油、切削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
- ⑩ 材料は、本体付属のバイスで確実に固定してください。
材料の固定が不十分ですと材料が飛んだり、チップソーが破損してけがの原因になります。
- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、チップソーや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑬ 作業中は必ず保護メガネをご使用ください。粉じんが出る場合はマスクもつけてください。
- ⑭ 騒音から耳を保護するため、耳栓を着用してください。

 注 意

- ① 刃物類（チップソーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
チップソーが破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があると思わぬ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが動くときの反発力に注意してください。
チップソー（モーター部）が下降したりし、けがの原因になります。

 注 意

- ⑥ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上に
乗せたまま作業しないでください。
手を切ったり、コードを切断して、感電につながるおそれがあります。
- ⑦ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
またコードを引っかけたりしないでください。
材料や機体などを落としたりすると、事故の原因になります。

各部の名称

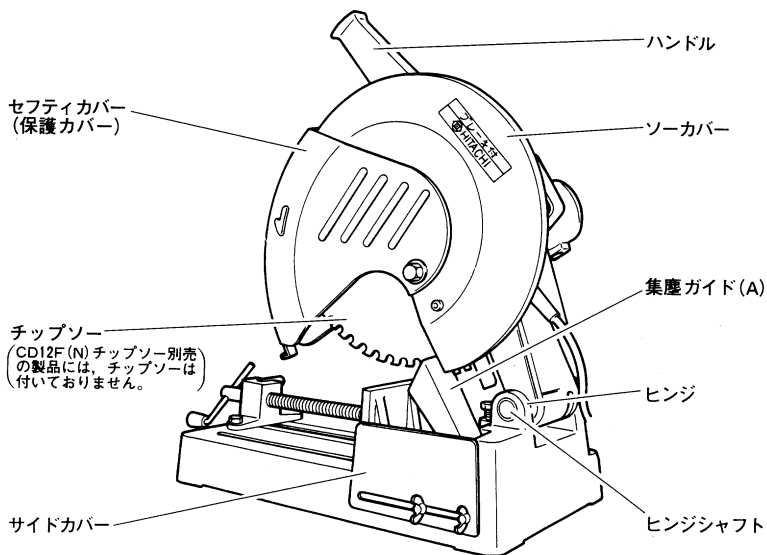


図 1

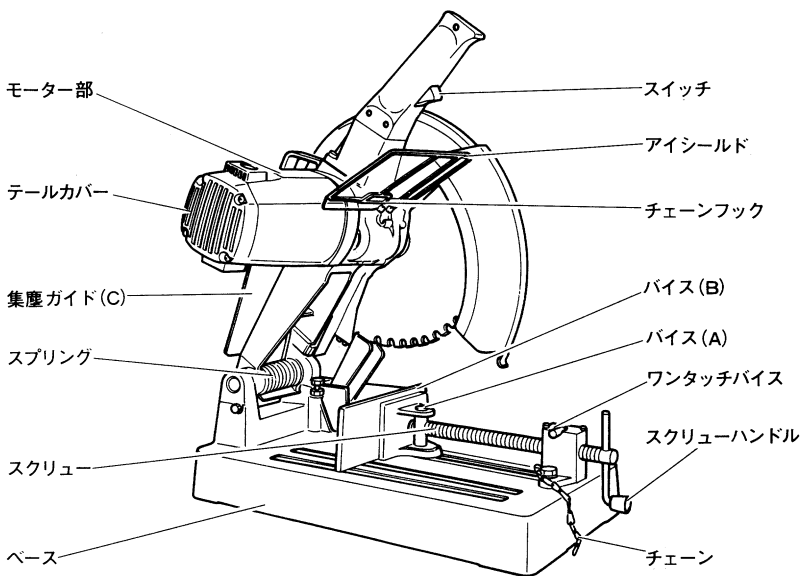
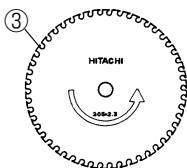


図 2

仕 様

項 目	CD 12 F〔チップソー付〕 CD 12 F (N)〔チップソー別売〕	
使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V	
全負荷電流	15 A	
モーター	保護形単相直巻整流子モーター	
使用丸のこ	外径 305 × 穴径 25.4 (mm)	
無負荷回転数	1400 min ⁻¹ {回/分}	
最大切断寸法	直角	パイプ外径 115 mm
		角パイプ・形鋼 125 mm × 75 mm (幅 × 高さ) 100 mm × 100 mm
		丸棒外径 32 mm
	45°	パイプ外径 76 mm
		角パイプ・形鋼 75 mm × 100 mm (幅 × 高さ) 75 mm × 75 mm
		丸棒外径 25 mm
角度切断範囲	直角～45°	
バース最大開き	128 mm (バース(B)移動時 148 mm)	
質 量	チップソー付 19 kg チップソー別売 18 kg	
コ ー ド	2心キャブタイヤケーブル 4 m	

標準付属品



- ① 17 mmスパナ …………… 1 個
- ② 保護メガネ…………… 1 個
- ③ 305 チップソー
軟鋼材用 (交互刃) …………… 1 枚
(刃数 60 コード番号 306911)

図3

注 • CD 12 F (N) チップソー別売の製品には、③ 305 mmチップソーは付いておりません。別途本機専用の日立純正金属切断用チップソー-或いは最高使用回転数 2000 min⁻¹ {回/分} 以上のチップソーをお求めください。

別売部品

（別売部品は生産を打ち切る場合があります）
ありますので、ご了承ください。）

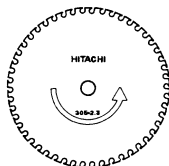


注 意

• 別売部品をご使用の際も、保護メガネを着用してください。

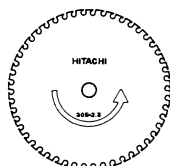
305 mmチップソー

①軟鋼材用（高低刃）



刃数 50 コード番号 305964

②軟鋼材・ステンレス用



刃数 81 コード番号 316037

図4

用 途



警 告

• ステンレス鋼・焼入鋼など用途以外の材料を切断しないでください。
チップソーが破損したり、けがの原因になります。

注 • ステンレス鋼の切断には、別売の軟鋼材・ステンレス用チップソーを使用してください。

- 軟鋼パイプ（水道管、鋼管、ビニールライニング管、塩ビ管など）の切断
- 軟鋼形鋼（アングル鋼、チャンネル鋼など）の切断
- 軟鋼丸棒の切断
- 軟鋼材・ステンレス用チップソーを使用しての、ステンレスパイプ、ステンレスアングルの切断

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認

この機体は二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. すえ付け

傾斜のない平坦な場所へ、安定した状態にすえ付けてください。

3. 継ぎ(延長)コード



• 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源が離れているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ(延長)コードをできるだけ短くして使用します。

下の表は、コードの太さ(導体公称断面積)によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	10 m
2.0 mm ²	15 m
3.5 mm ²	30 m

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

4. チェーンをはずす

工場出荷時にはチェーンで可動部を固定してありますので、ハンドルをすこし下に押し、チェーンをチェーンフックからはずしてください。(図1, 2参照)

5. 作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「電動工具の安全上のご注意」の注意事項にかがられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～6項については、電源プラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、チップソーや機体が破損するおそれがあります。また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる

警 告

- 引金を引いた状態で、電源プラグを電源にさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

スイッチ引金(図2参照)を引くと入り、離すと切れます。引金を離れたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

3. チップソーの締付けを確かめる

チップソーの締付けを念のため確かめてください。詳しくは18ページ「チップソーの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

4. セフティカバー(保護カバー)の確認

警 告

- セフティカバー(保護カバー)は、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
セフティカバー(保護カバー)でチップソーを覆っていないと、けがの原因になります。

セフティカバー(保護カバー)(図1参照)は、身体がチップソーに触れる事故を防止するものです。また、切りくずの飛散を防止するものです。

従って、セフティカバー(保護カバー)が円滑に動かないまま使用したり、取りはずして使用するようなことは絶対にしないで下さい。必ずセフティカバー(保護カバー)がチップソーを覆うよう円滑に動くことを確認してください。

万一、セフティカバー(保護カバー)が円滑に動かない場合は、決してそのままお使いにならないでください。この場合、速やかにお買い上げの販売店、または日立工機電動工具センターなどにお問い合わせください。

5. ストップピンの確認

⚠ 注 意

- 回転中は、ストップピンを押さないでください。また、ストップピンを押したまま（チップソー軸を固定した状態）でスイッチを入れないでください。

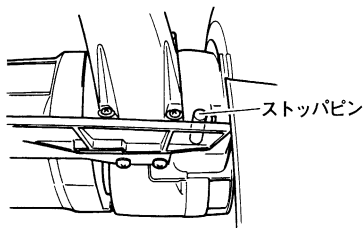


図 5

チップソーの取付け・取りはずしに使用するストップピンがはずれていることを確認してください。

(図 5 参照)

6. チップソーの面振れ点検

チップソー軸を付属（図 3 参照）の 17 mm スパナでチップソー軸端面から見て時計方向へまわし、チップソーの面振れを点検してください。面振れが大きいと正確な切断ができなくなります。また、振動の原因になります。

この場合、速やかにお買い上げの販売店、または日立工機電動工具センターなどにお問い合わせください。

7. 電源コンセントの確認

電源プラグを電源に差し込んだ時、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

8. ブレーキがかかることを確かめる

⚠ 注 意

- ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
チップソー（モーター部）が下降したりし、けがの原因になります。

本機はスイッチ（図 2 参照）を切ると同時にブレーキがかかる構造になっています。ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。万一正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店、または日立工機電動工具センターなどに修理をご用命ください。

切断する前に

1. ワンタッチバイスの使い方

- 注** ・グリップを倒そうとしても倒れない場合は、スクリーハンドルを少し回してください。

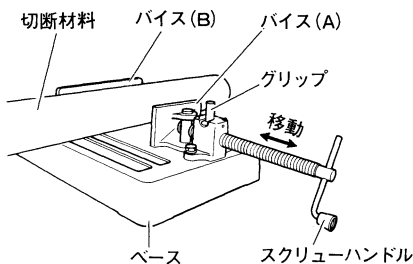


図6

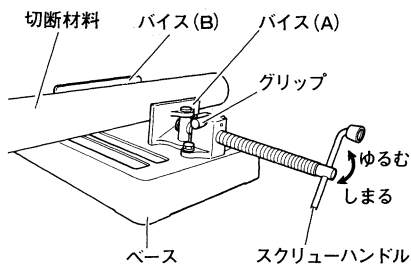


図7

本機は、グリップを立てたり、倒したりすることにより、バイス (A) の早送りとネジ送りの切り替えができます。切断する材料に合わせて使い分けることにより能率よく作業できます。

- (1) グリップを立てた状態(図6参照)の時、スクリーハンドルを押ししたり引いたりすればバイス(A)の早送りができます。
- (2) グリップを倒した状態(図7参照)の時、スクリーハンドルを回せばバイス(A)のネジ送りができます。

2. 切断角度の調整

⚠ 注 意

- ・切断角度設定後、M10 ボルト(3本)を確実に締付けてください。締付けが不十分ですと切断時に、バイス(B)が動き切断精度が悪くなるばかりでなく、材料が飛んだり、チップソーが破壊してけがの原因になります。

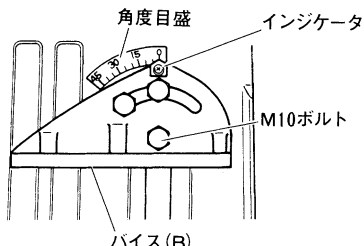


図8

本機は 45 度までの角度切断ができます。付属の 17 mm スパナで M10 ボルト(3本)をゆるめ、角度目盛にインジケータを合わせればバイス(B)の角度が設定できます。(図8参照)

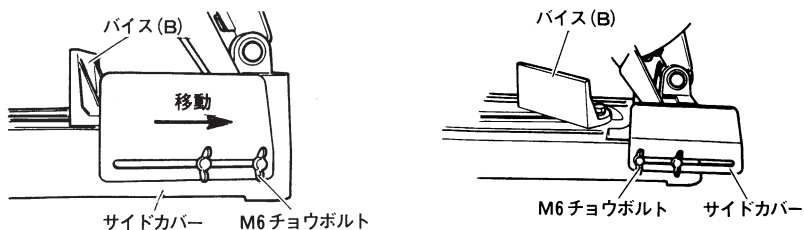


図 9

角度切断時、材料がサイドカバーに当たる場合があります。

M6 チョウボルト（2本）をゆるめて、材料が当たらない位置までサイドカバーを移動してください。（図 9 参照）

3. バイスの開き幅を広げる方法



注 意

- バイス (B) 移動後、M10 ボルト (3本) を確実に締付けてください。締付けが不十分ですと、切断時にバイス (B) が動き切断精度が悪くなるばかりでなく材料が飛んだり、チップソーが破損して、けがの原因になります。

注

- バイスの開き幅を大きくすると角度切断はできません。

工場出荷時、バイスの最大開き幅（バイス (A) (B) の材料接触面の最大距離）は、128 mm にしてあります。

付属の 17 mm スパナで M10 ボルト（3本）をはずし（図 8 参照）、バイス (B) を角度目盛（図 8 参照）側に移動し 0 目盛に合わせて取付けると、バイスの最大開きは、148 mm にできます。

切断方法

警告

- チップソーを回転させたまま材料の取付け、取りはずしをしないでください。材料がチップソーに巻き込まれて飛散するなどけがの原因になります。

1. スイッチの操作

スイッチは引金を引くと入り、離すと引金に戻り切れます。

2. 材料の固定

警告

- 材料は、本体付属のバイスで確実に固定してください。材料の固定が不十分ですと材料が飛んだり、チップソーが破壊してけがの原因となります。

材料をバイス(B)面に確実に突き当て、グリップを立てた状態でスクリーハンドルを押し、バイス(A)を材料に軽く押し当ててください。

次に、グリップを倒し、スクリーハンドルを回して材料を確実に固定してください。

(14ページ「1.ワンタッチバイスの使い方」参照)

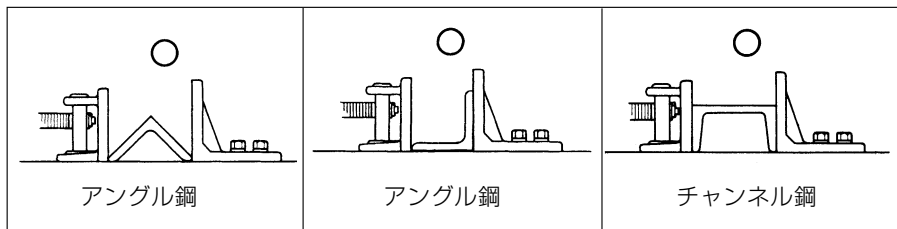


図 10

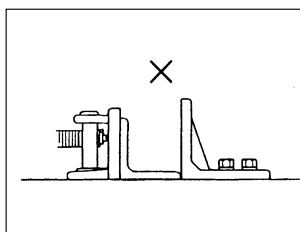


図 11

材料がアングル鋼、チャンネル鋼の場合は、必ず図 10 のように固定してください。

アングル鋼を図 11 のように固定しないでください。図 11 の状態で固定し、切断すると材料が動き、切断精度が悪くなる場合があります。

3. 切断作業

警 告

- 作業中は必ず保護メガネを使用してください。粉じんが出る場合は、防じんマスクもつけてください。
- 騒音から耳を保護するため、耳栓を着用してください。
- 切断中、多少チップが欠けますが切断に支障がありません。そのままご使用ください。ただし、台金に割れが発生した場合は、ただちに使用を中止してください。チップソーが破損し、けがの原因になります。
- 切り落とし側が薄い場合は、切断後、チップソーを回転させたままハンドルを持ち上げると、強い反発力が生じたり、切り落した材料がチップソーと接触して飛散することがあり、けがの原因になります。チップソーが完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。
また、1回の切断または切り込みが終わるごとに、スイッチを切ってチップソーの回転が停止したのを確認し、切り落した材料を取り除いてから、次の段取りをしてください。
- 材料を切断する時は、引火しやすいもの、傷付きやすいものは、遠ざけてください。
- 切り落した材料・切りくずは高温になりますので、素手でさわらないでください。
- 切削油などを付けて切断しないでください。切削油・切削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
- 万一の事故を防止するため、作業後は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。

注 意

- ハンドルを急激に押し下げてチップソーを材料に強く当てないでください。チップの欠けや、台金割れの原因になります。
- 万一、切断中にチップソーが停止した場合は、ただちにスイッチを切り材料からチップソーをはずしてください。
その後、無負荷運転を行ない、異常のないことを確認してください。

- 注**
- 切り込み量が少なすぎますと火花が多くなり、チップ摩擦の原因となります。
 - 切り込む時、ハンドルに力を入れすぎても早く切れません。力を入れすぎるとむしろモーターに無理をかけ能率も悪くなります。

- (1) スイッチを入れチップソーの回転が完全に上がって安定してから、ハンドルを静かに下げて材料に近づけます。
- (2) チップソーが材料に接触したらハンドルを徐々に押し下げて切込みます。火花が一番少ない状態を目安に切り込んでください。

- (3) 切断が終わったところでスイッチを切り、チップソーの回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げ、もとの位置にもどしてください。

4. チップ欠けについて

チップソーは切断回数とともにチップか欠けが発生します。小さな欠けは、その破面が切刃となってよい切れ味を保つ要因となります。

しかし、過負荷切断や衝撃切断などにより異常に大きく欠けた場合は、切れ味を低下させ、寿命低下の原因となりますので、切り方にご注意ください。

チップソーの取付け・取りはずし

⚠ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。
- ボルトがゆるまないよう確実に締付けてください。
なお、電源プラグを電源にさし込む前にボルトが確実に締付けられていることを確認してください。
- 連続して切断した後、チップソーを取りはずす場合、チップソーが熱くなっていることがありますので注意してください。

⚠ 注 意

- チップソーにヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用してください。
- セフティカバー（保護カバー）の矢印とチップソーの回転方向のマークが同じ向きになるように、チップソーを取付けてください。
- チップソーの取付け・取外しに使用したストッパピンが元の位置に戻っていることを確認してください。

1. チップソーの取付け

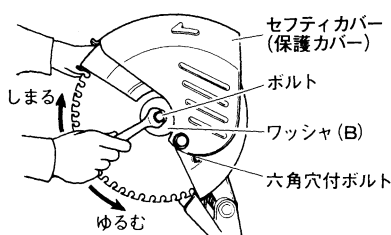


図 12

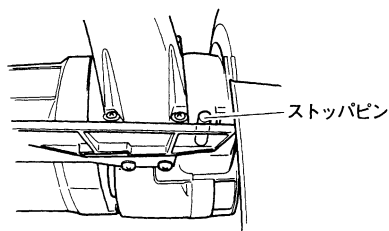


図 13

- (1) セフティカバー（保護カバー）を六角穴付ボルトに当たるまで持ち上げます。（図 12 参照）

- (2) ストップピンを手で押し（図13 参照）ながらボルトに17 mmスパナをかけ、ゆっくりと回転させ、ストップピンが下がったら、チップソー軸が固定されたこととなります。この状態で図12のゆるむ方向（左回転）に17 mmスパナを回せばボルトがゆるみます。
- (3) ボルト、ワッシャ（B）を取りはずします。
- (4) チップソーを取付けます。（本機専用の日立純正金属切断用チップソー、或いは最高使用回転数2000 min⁻¹（回/分）以上のチップソーを取付けてください。）
- (5) ワッシャ（B）、ボルトに付いている切りくず、ゴミなどを除去し、チップソー取付け軸に取付けてください。
- (6) ストップピンを押し、ボルトに17 mmスパナをかけて図12のしめる方向（右回転）に回せばボルトが締まります。

4. チップソーの取りはずし

チップソーの取付けの項の要領で、チップソーを取はずしてください。

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。

1. チップソーの交換

⚠ 注意

- 切れ味の悪くなったチップソーを無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。切れ味の低下したチップソーをそのままお使いにならないでください。

チップソーの切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておきますとモーターに無理をかけることになり、また効率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2. カーボンブラシの点検

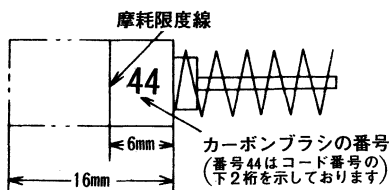


図 14

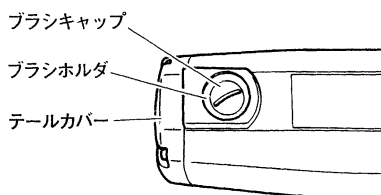


図 15

モーター部に（図 2 参照）には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますとモーター故障の原因となりますので、長さが摩耗限度線（6 mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシは、ゴミなどを取り除いてきれいにしてブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。（図 14、15 参照）

注 ・新品と交換の際は、必ず図示の番号（44）の日立カーボンブラシを使用してください。指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

交換方法

カーボンブラシは、⊖ドライバーなどでブラシキャップ（図 15 参照）を外しますと、取り出せます。

3. モーター部の取扱いについて

モーター部（図 2 参照）の巻線部分は、本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 ・モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。50 時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバー（図 2 参照）の風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。

4. 各部取付けネジの点検

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいるところがありましたら、締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがの原因になります。

5. セフティカバー（保護カバー）の動作点検と保守

セフティカバー（保護カバー）（図 1 参照）は、いつも円滑に動作するようにしておいてください。なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

6. 注油

本機を長持ちさせるため、月一度の割で注油箇所に注油してください。（図 1、2 参照）（油はマシン油が適当です。）

注油箇所

- ヒンジの回転部
- バイス（A）のスライド部
- バイスのスクリュュー部
- ワンタッチバイス部
- スプリング
- セフティカバー（保護カバー）取付け部

6. 清掃

ときどき機体に付いている切りくずや、ごみを布などで拭き取ってください。モーター部(図2参照)は水や油でぬらさないようにしてください。

7. 機体や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手の届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所
- } このような場所
には保管しない。

ご修理のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなったような場合には、決してご自分で修理をなさらないで下記のところにご用命ください。

最寄りの

日立電動工具販売店

日立工機電動工具センター

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

■日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

●全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル)	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル)	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル)	☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

●電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

